

# 石クリ通信

## 12月号

言葉の面白さ  
事務 森 絵里子

母親が関西出身という事もあり、幼いころからアメには「ちゃん」、コープには「さん」を付けるのが当たり前でした。大学進学のため関西に行つて驚いたことは、関西の学生達はセブンイレブンを「セブイレ」、マクドナルドを「マクド」と呼びます。しかし朝マックは「朝マクド」ではなく「朝マック」なんです。不思議です。大学のすぐ側に電気屋さんがありました。店内に流れるBGMに「ちよっとで良いから勉強して〜!」というフレーズがありドキッとしました。親元を離れてまでその言葉を聞くとは、しかしこれは「ちよっとでいいからおまけして」という意味でした。現在放送中の朝ドラ「ごちそうさん」でも市場のシーンでよく耳を澄ませていると、たまにですが「勉強するで〜!」と聞こえてきますので要チェックです。それでは皆様元気に年を越しましょう☆

母子旅  
看護師 澤田 彰子

結婚前は母と二人で毎年いろいろな所へ旅行に行きました。今回十数年ぶりに「母が歩けるうちに旅行に行きたい。」と思い、世話係にと姉も誘い、広島・宮島へと行って来ました。宮島は修学旅行で一度行って、団体でゾロゾロ見て回っただけの記憶しかなく、もう一度じっくり見てみたいと思つていただけの記憶しかありません。今回はガイドに大島居の自立する仕組みや厳島神社で行われる祭事や儀式の様子など聞くことが出来、当時の豪華な様子をうかがい知ることが出来ました。もちろん、焼きカキ、土手焼き、穴子丼、揚げもみじなど、食べたいものはちゃんと食べ尽くしてきました。

クリスマス  
看護師 高山 早苗

今年もとうとう十二月です。ちよー早いですがねえ。自分の誕生日でもある十二月は行事が多く特にクリスマスは子供のころから大好きでした。ツリーを飾ったり家族でケーキを食べたり肉嫌いの私も三・四歳の頃は鳥のモモ肉を食べていたとの母の話です。ちなみにクリスマスが一般大衆に広く知られるようになったのは明治三十七年に「明治屋」が銀座へ進出し、クリスマスツリーを店頭ディスプレイしたことが大きな話題を呼んだそうです。一般家庭にクリスマスを祝う習慣が完全に定着したのは昭和二十五年頃だそうです。景気や世相の影響を受けながらも今の日本人なくてはならない年末のイベントとして私たちの生活にとけこんでいるクリスマス。今年はどうなクリスマスかを過ごそうかなあ。

二十六年間続けて  
看護助手 柴田 さち子

今年最後にとても嬉しいことがありました。石川先生の推薦により、ロータリークラブから優良従業員賞というすばらしい賞を頂きました。心から感謝しております。今の仕事を二十六年間続けて来て本当に良かったです。私の好きな言葉があります。「初心忘れるべからず」この言葉が大好きです。何事も初心の気持ちで忘れずに、今の仕事で患者様と同じ気持ちになつて看護ができ、少しでもお役にたて喜んで頂ければ嬉しいです。このような賞を頂き、これからの賞に恥じる事のない様、看護に専念していきます。ありがとうございます。

お屠蘇  
事務 久保 直子

今年もいろいろ美味しいお酒を頂きましたが、いまだに試していないものがあります。それは本格的なお屠蘇です。お屠蘇とは、味醂に屠蘇散というニツキや山椒など数種の生薬を浸けた薬酒です。私は最近まで、お屠蘇が味醂を使用した薬酒だという事、味醂が焼酎を仕込んで出来たものだということを知りませんでした。「本みりん」と呼ばれる旧式味醂は、まったく甘くそのままでも美味しいと聞きます。値段は少々お高いですが、年に一度の事ですし「本みりん」を使つて大晦日にお屠蘇を仕込み、余つた味醂はそのまま飲んでみます。

樹木を大切に  
院長 石川 悟

鎮守の森と言われるように、神社・仏閣には大きな樹木が聳えているのが、古くからの日本の風景でした。また外国に行くとも大都会の中でも立派な木が存在を示し、街路樹の樹の美しさにも感動します。最近日立市内では、街路樹のケヤキがサボテンのように裸にされたり、神社の古木が伐採されて駐車場に代わつてしまつたり、古くからある病院の立派なヒマラヤスギや檜の木がいつの間にか消えてしまつて、さびしい限りです。

小学生でも知っているように、樹木は二酸化炭素を使って酸素を出してくれます。風よけにもなるし、地球の温暖化にも寄与しています。山火事の時に家の周りの林が延焼を抑えた例もあります。大きな木は動物たちの憩いの場所であるばかりでなく、その美しさで心が癒されます。ゴルフ場でホールインワンの記念植樹のネームプレートに、すでに亡くなった人の名前を見ることがあります。漢詩「年年歳歲花相似、歳歳年年人同。此日此景、此世に生き続けられる木々を大切にしたいと思ひます。

中井久夫  
事務長 石川 都

今私がハマっているのは中井久夫である。精神科医中井久夫は、阪神淡路大震災後の心のケアの陣頭指揮も執つた精神医学界の大御所であるが、同時にギリシヤ詩などの翻訳もこなす文芸者でもある。彼の著作は専門分野でも非常にわかりやすい上、文章が詩的で美しいため、最近私は彼の本ばかり読みふけています。今回は彼の著作より、人に自ら備わる三つのストレス解消法について述べたい。これはほぼ二日で収支を合わせればよいと言ふ。寝過ぎも眠りの質の悪さを量で補つていけるのでOKだそうだが、二日徹夜してますます元気が出るのは危険な兆候だそうである。

チャンピオン・ジャージ  
通信・ウェブ担当 石川 香

人の人生とは分からないもので、現在、自転車のユニフォームを作る「チャンピオン・システム」という国際的会社で、デザイン制作や英語での業務を担当しています。自転車のロードレースで賞を取ると、メダルではなく「チャンピオン・ジャージ」が送られます。有名なのはツール・ド・フランスで、急坂でポイントを稼いだライダーに送られる、赤玉のジャージ、山岳賞の「マイヨ・ア・ポワ・ルージュ」です。他にも優勝にあたる「マイヨ・ジョーヌ」は黄色、ポイント賞は緑、新人賞は白と決まっています、この4色を着たライダーが並ぶと壮観で、非常に迫力があります。

他に、世界戦で勝利を納め、世界一になった選手が着るレインボージャージがあります。今年、世界一になったのは「ルイ・コスタ」という選手で、来年は私の会社がスポンサーをするランプレ・メデイアのチームへの移籍が決まりました。つまり来年のレインボージャージは私の会社（US本社）が作ることにあります！楽しみます！下の写真は、今年のフィレンツェでの世界戦を見た際の、ランプレ・メデイア擬態ジャージです。

